

■学校の概要

農業大学校は農業後継者や農業技術者の養成を行う教育・研修施設である。

■業務の目的

農業大学校は、幅広い視野から農業を考え、時代の変化に対応した技術力と判断力、応用力を身につけた農業者及び農業技術者を養成することを教育方針としている。

そのために、当研究所の各部門と連携を図りながら農業に関する専門的な知識・技術習得のための実践的な教育や研修を実施している。

卒業後の進路に関しては、専門の資格を持った職員が、就農及び農業関連団体・企業への就職指導を行っている。

■業務の概要

・1年次

農業について基礎的な技術・知識を学ぶ。

[栽培実習]

大阪で専門的な栽培の多い果菜類、軟弱野菜、ぶどうなどを中心に、は種・機械による耕耘・定植・収穫などの一貫管理を行い栽培技術の習得を図る。

[直売実習]

週2回の直売実習で販売手法の習得を目指す。

[農家実習]

農の匠(府内の先進的な農業経営者)のほ場での実習を通じ、農業経営の理解を深め、作物を実際に栽培するなど、技術習得する。

・2年次

以下のコースに分かれて、農業現場ですぐに活用できる、より深く高度な内容を学ぶ。

[農業技術研鑽コース]

大阪の最先端の農業研究を行っている各研究部門での農業の専門的な知識習得や実践的研修を行う。(専門分野:野菜、果樹、花き、水稻、土壌肥料、病害虫など)

[農業実践コース]

経営計画に基づくほ場の周年管理を行い、農業技術力と経営管理能力を向上し、就農を目指す。

・短期プロ農家養成コース

農業を開始しようとする方、農業技術を習得しようとする兼業農家の方に対し、1年間にわたって農業の基礎知識の講習及び栽培ほ場での実習、研修(原則、野菜:毎週、果樹:隔週)を行い、大阪農業の新たな担い手として育成している。また、全3回の入門コースを7月と1月に実施している。



写真1:農業実習(ぶどうの適粒)



写真2:機械実習(トラクター操作)

卒業後の進路(H29年度)	
進学	2名
自営就農	1名
新規就農	2名
研修就農	4名
雇用就農	2名
JA	3名
農業関係就職	6名
その他	3名